



RDA Japan News

Riding for the Disabled Association Japan



Happy People Make Happy Horses

東京都知事認定 特定非営利活動法人 RDA Japan 会報 ~ 障がいを持つ人のための乗馬 ~ 2014年9月1日 Vol.85

お知らせ



○「RDA横浜」主催 講演会

- 【テーマ】「馬がもたらす笑顔 ~乗馬による障がい児への影響とボランティアの関わり方~」
【内容】RDA 横浜の活動を紹介しながら、障がい児への影響やボランティアの関わり方を中心に障がい者乗馬について分かりやすく説明します。
【講師】RDA 横浜レッスンコーディネーター・理事 野口陽
【日時】9月21日(日) 14:30~16:00(受付14:15~)
【場所】かながわ県民活動サポートセンター4階 会議室406
(JR・私鉄各線横浜駅 西口・きた西口より徒歩5分)
【受講料】無料
【定員】20名(先着順)
【その他】申込方法などの詳細は、RDA 横浜のHP(<http://www.rda-yokohama.jp/index.html>)をご覧ください。

○「パカポコ山口」秋の乗馬会&ボランティア講習会「馬を知ろう！」

- ①乗馬会：9月27日(土) 10:00~12:00 秋吉台サファリランド(美舒玖珂郡和木町)
②講習会：11月2日(日) 10:00~16:00 蜂ヶ峯総合公園(玖珂郡和木町)
(実技乗馬会 14:00~16:00)

受講料：無料

講師：チャレンジドホースサークル代表、RDAJapan 理事
玉井香織氏 (PT、RDAJapan 認定B級インストラクター)

その他：雨天中止(小雨決行)

○第10回「治療的乗馬」研究集会

今年も RDA Japan, 治療的乗馬協会, ハーモニイセンター, JRAD の共同開催です。

- 【日時】11月15・16日
【場所】オリンピック記念青少年総合センター(小田急線「参宮橋」駅より徒歩7分)
【大会テーマ】「一歩前へ；馬をパートナーとした心身の健康への取り組み」
【内容】活動実践、研究、トピックスの発表と協議。
※参加希望者は RDAJapan 事務局へご連絡ください。JTRA 会員価格でご参加できます
事務局連絡先：TEL 080-6519-7818 mail rda@rdajapan.com

○HETI 世界大会 in TAIWAN

HETI(The Federation of Horse in Education and Therapy International)の世界大会が明年台湾で行われます！

- 日程：2015年6月22日-25日
会場：台北市 アレセイア大学
その他：詳細は www.HETI2015.org をご覧ください。



理事会におきまして、【B級インストラクター資格指定講習会・試験及び講習会の区分】と【ユニット登録に関する規程】が改定されましたのでお知らせいたします。

【B級インストラクター資格指定講習会及び試験・講習会の区分】

1. B級インストラクター資格指定講習会・試験料金の改定

次の通りに変更となります。（H26年9月より実施）

| 課 目 | 指 定 講 習 会 | 試 験 |
|----------|----------------------|----------|
| ①馬取扱い座学 | 3,000 円（会員：2,000 円） | 2,000 円 |
| ②馬取扱い実技 | 10,000 円（会員：8,000 円） | 5,000 円 |
| ③RDA活動座学 | 8,000 円（会員：7,000 円） | 3,000 円 |
| ④RDA活動実技 | 15,000 円 | 15,000 円 |

- 1) ①～③の講習会は会員料金を設定。
- 2) ①～④の試験受験資格は会員であること。
- 3) ④試験受験までに 100 時間のログブックを提出。

2. 講習会の区分

講習会の区分を下記の通りに定めます。

- A 推薦講習会（RDAが推奨する他団体主催を含む講習会）
- B 認定講習会
 - a) 資格認定講習会（B級インストラクター資格認定基準に対する講習会）
 - b) インストラクター資格更新時指定講習会
 - c) ①～④ B級インストラクター資格試験指定講習会

3. A級・B級インストラクター審査料、登録料、更新料について

これまでの審査料・登録料を、「審査登録料」とし、新たに「更新料」を制定する。

A級インストラクター（現）審査料 15,000 円、登録料 3,000 円→（新）審査登録料 15,000 円。

B級インストラクター（現）審査料 15,000 円、登録料 3,000 円→（新）審査登録料 5,000 円。

「更新料」は A級インストラクター 5,000 円 B級インストラクター 3,000 円

平成 26 年度 講習会・試験の予定について

- A) ③講習会・試験・面接（関西）
 - 日時：平成 26 年 12 月 13（土）・14 日（日）
 - 場所：岡山県岡山市 岡山県立図書館
- B) ④講習会（関東）
 - 日時：平成 27 年 1 月 24（土）・25 日（日）
 - 場所：静岡県御殿場市 馬術競技場 覆馬場

講習会のみ参加可能！
 試験を受験する場合は講習会
 への参加は必須です

【 ユニット登録に関する規程 】

理事会にてユニット審査・登録料の有料化について決定し、「ユニット申請・登録料」の規程が改定され平成27年（2015年）4月より施行される事になりました。

日本全国各地のユニットは、RDAJの支部として考えています。

RDAの方針に則り安全面などしっかりと配慮・意識し、地域の障がい者乗馬活動をリードするような有意義な活動を展開して頂くために、また、RDAJ本部と登録ユニットが現在よりも、さらにより良い協力関係を形成できることを目的とし、今回の有料化の設定を行います。

料金設定後の本部とユニットの関係について、次の①～⑥で提示します。

①有料化について現在の登録ユニットに通達し、了承が得られた為、2015年4月1日施行とする。

②現在の登録ユニットについて、審査料、登録料を遡って徴収することはない。

③現在登録している、ユニット、準ユニットがベースユニット、ユニットへ移行をする際には審査が必要。

2015年4月1日以降に移行する際は審査料・登録料が必要となる。

④登録ユニットの活動確認と活動計画の把握、外部への情報発信などを目的として、登録ユニットは年度末に年間活動報告と次年度の活動計画（予定）を本部へ提出。

⑤登録ユニットの活動内容は、基本的には現在と同様にRDAJ本部より干渉を受けることはない。

⑥登録ユニットは、本部との結びつきを高め、協力し合い、より良い関係を保ちながらRDA Japanの理念に沿った活動を行う。

平成27年度からは、新規にユニット申請する際には、

I. 「ユニット申請書」提出後、ユニット認定審査の時の『審査料』が必要になります。

II. 審査後、理事会、理事長へ認定了承されてユニット登録する際の『登録料』が必要になります。
『登録料』を納付後、「ユニット認定証書」（認定期限3年）が発行されます。

登録ユニットが認定ユニットとしての再登録申請をする際には、

III. 活動中の各種ユニットは、認定期限切の前に「再登録申請書」を提出と『再登録料』納付を行います。
『再登録料』を納付後、「ユニット認定証書」（認定期限3年）が発行されます。

各種料金はつぎのように設定されました。※新規ユニット登録についてのご相談は事務局へお願いいたします。

【審査料】＊ユニットとしてRDAJに登録できる活動団体かどうかを活動現地に行って審査を行う。

ベース：¥20,000 ユニット：¥15,000 準ユニット：¥10,000

【登録料】＊審査結果よりユニットとして認定後、正式にRDAJに登録され、ユニットとなる。

ベース：¥5,000 ユニット：¥5,000 準ユニット：¥5,000

【再登録料】＊ユニットの登録期間終了前に、再登録の手続きが必要。

ユニット登録期間は2年を3年に変更。

ベース：¥3,000 ユニット：¥3,000 準ユニット：¥3,000

RDAJのユニットはみんなの笑顔を支える場所。全国に笑顔をサポートする活動の輪を、RDAJとともに広げていきませんか？

RDA Japanの組織はユニットで構成されており、ユニットには3つの種別があります。

★ベースユニット：活動拠点と自馬をもちRDAJが認定するインストラクターがいるユニット

★ユニット：RDAJが認定するインストラクターがいて、活動拠点と馬（もしくはいずれか）を借り活動を行うユニット

★準ユニット：活動拠点・馬（もしくはいずれか）を借り・インストラクター不在であるが、活動を行っているユニット

● B級インストラクター紹介



このたび新たに5名のB級インストラクターが誕生しましたので、今回より3回にわたりご紹介していきます。

塚本 雅弘(神奈川県 RDAたま)



障がい者乗馬に関わり始めて、もう早いもので丸5年が経過しました。

この5年間で多くの経験をさせていただき、たくさんの方とふれあう機会がありました。

障がい者の方、ご家族の方、お子さん、ご年配の方…様々な出会いがありましたが、馬を通してお会いした方々はやはり、馬の魅力に引き込まれたんだなあと感じます。

障がい者、健常者に関係なく、「馬」を通じて癒しや感動を分かち合えるのはとても素晴らしいことです。

これは犬でも猫でもなく、馬だからこそ分かち合えるものだと思います。

残念なことに日本では、馬と接する機会が少ないのが現状です。

幸い RDA たまでは、馬と活動場所を所有していますので、少しでも多く馬とふれあえる場を提供して、皆さんに馬の魅力、素晴らしさを伝えていきたいと思えます。

昨年度は B 級インストラクターの資格も取得しました。

これからも、インストラクターとしての自覚と責任を持って、安全で楽しく活動できるように努めていきます！

内藤 岳彦(福岡県 恵光園ヒポクラブ)

「馬術で社会に貢献する」「乗って楽しい馬作り」という事を生涯目標として乗馬に携わっています。

勿論、乗る事だけがセラピューティックライディングではありませんが、障がいを持つ方々にも馬と楽しむ事を提供できます。

今回の資格取得は、その一つの証を得たとも言えるもので、私自身喜んでいきます。

また、この資格を持って、馬術に関わる人達に障がい者乗馬の理解を助け、より有意義な障がい者乗馬活動を実行できるよう協力していきたいと思えます。



そして、障がい者乗馬をより多くの人達に知ってもらい、活動して頂けるようになれば、連綿として続く馬術の歴史を紡ぐ者の一人として社会に貢献できると信じています。



このコーナーは、全国のRDA活動を通して乗馬を楽しむ乗り手さんや、ご両親はじめ、皆さんからのホットな交流の広場です♡

「うまふれ」に参加して

志村陽子（神奈川県 RDAたま）

息子は 25 才。2 才を過ぎたころに「自閉傾向のある発達遅滞」と診断を受けました。幼児期療育から幼稚園、小中学校は心障学級（特別支援学校）、養護学校（特別支援学校）高等部を経て地域の通所施設（就労継続支援 B 型）に通うようになり 8 年目です。幸いなことに身体は丈夫で身長 175 cm、体重は 75kg と、すくすくと育ちました。幼児期から小学校中学年の頃は、特有の“こだわり”に彩られた生活で、そこからどう成長するのか見通しが持てず、不安に思ったこともありましたが、周囲の励ましのお陰でそれなりに会話も成立するようになり、小学校高学年からは学校も休まずに通えるようになりました。そして、中学校に通うようになった頃、実家の近所である中田動物病院が RDA 活動に取り組みされていることを家族から教えてもらいました。

青い風牧場 RDA たま の「うまふれ」活動に参加して 13 年目になります。参加当初、全体の活動の流れが分からず、「待つ」ことに苦労してしまい、騎乗の順番を先にしてもらったり、全体の活動終了まで待てずに先に帰らせてもらったり、わがままも聞いていただいたりしました。息子のように自閉症とその周囲にいる人たちにとって、見通しが立たないことは大きな負担です。パニックを起こしたり不機嫌になるのには必ずわけがあります。RDA たまではそのうまふれ活動の積み重ねの中で、分かりやすい流れを示してくれるのと同時に、「乗馬」というルールやマナーが大事であることも息子教えてくれました。年間を通した定期的な活動の他にも、季節ごとのイベントも盛りだくさんで、今では息子もその流れも理解できるようになりました。

「障害者乗馬」は元来身体に障害のある方たちのリハビリにと取り組まれたと聞いていますが、息子たちのような知的障害や自閉症のある人たちにも、その情緒の安定や全身運動の機会として大いに役に立つ物と実感しています。その操作に必須の、足の合図で行う発進、手綱操作の『右』『左』『止まれ』その他の合図も、動作と言葉を合わせることで身をもって覚えることができます。息子に関して言えば「姿勢を良くする」ということを実感とともに覚えられたのは乗馬のお陰です。またその活動の記録も毎回共有していただき、家族としても参考になる所は大きいです。通学、通所先との往復に終始しがちで社会活動の少ない障害ある人たちにとって、安心して参加できる「余暇活動」はとても大切な場所でもあるのです。

そして、その活動を支えてくださるみなさんには、そのボランティアと同時に、息子たちと過ごすことを楽しんでくださることに何より有難く幸いなことと心から感謝しています。うまふれの場を通じて馬と人、障害のある人ない人、それぞれの交流がそれぞれの心や体によい経験として積み重なっていくことに、これからも大いに期待しています。



Mくんの描いたイラスト



馬の瞳に癒されながら

小山 亜弥香 (愛知県 伊良湖ホースライディングクラブ)

特別支援学校に通う私の双子の娘達は二人とも脳室白質軟化症 (PVL) という病気による脳性マヒです。

今現在、長女は数十秒の座位、寝返りと背ばいで色々な処に移動できます。次女は横向きまではできますが、あと少しで寝返りが出来るといった感じでしょうか。

六年前、病気の告知を受けた Dr から色々な刺激を沢山与えてあげていっぱい愛情の中で育ててあげて下さいと言われてました。当時の私はすぐにすべてを受け入れることができなかつたし、何をどうしたらいいのかも分からなかつたけど、とにかく少しでも症状を抑えられるように必死で調べ良いといわれる病院、リハビリ、音楽療法などに通い娘たちに頑張ってもらいました。でも、何処に行っても何をしてもまずは大泣きする娘達。病院の先生はもちろん、リハビリや療育施設の先生方に対しても泣いてばかりで何をしに行ったのか分からない日も沢山ありました。

その姿が私も悲しくまた疲れていました。そんな時に目にしたのが、たまたまテレビで放映されていたホースセラピーです。馬と触れ合いながら歩けなかつた子が歩けるようになってのを見て“これだ!”と思いました。この時の私はホースセラピーの事は何も知らず、なんの確証もありませんでしたが、何故かこれにかけてみたいと思いました。

それからは縁あって伊良湖ホースライディングクラブの方達に出会い、今は毎週セラピーを受けさせて頂いています。初めて行った時に出会ったポニーのはなちゃん。その瞳はすごく優しい目をしていました。そのはなちゃんに初めて乗って全く泣く事なくニコニコしてうれしそうな娘たちの顔を見たときは周りにいる家族も癒してくれるのだと思いました。

セラピーを初めてもうすぐ2年。娘達も前のめりにクッタとなっていたのがだいぶ体を起こせる時間が長くなってきました。乗馬する事で鍛えられてきた体でリハビリにも効果がでてきたように思います。

ゆっくりではありますが、大自然の中で楽しみながら行うはなちゃんのセラピーに私も癒されながら見守っていきたくと思います。





馬たちをもっと知ろう！



これまでの馬の雑学は、獣医師 月川大樹先生にバトンタッチされ、
《馬たちをもっと知ろう》としてリニューアルします。

第1回「馬とヒトの関わりが始まった！」

獣医師 月川大樹

人類はおよそ5500年前にウマに乗り始めたと言われていています。以来、後世に車が発明されるまでのおおよそ5350年間の間、ウマは人類にとって移動手段であり続けました。数ある地球上の動物の中で、なぜ人類はウマを移動のための「乗りもの」として選んだのでしょうか？

ウマは奇蹄目のウマ科に属する草食動物です。地球上の草食動物では偶蹄目の方が圧倒的に繁栄しています。ウシ、ヒツジ、ブタ、ヤギ等の仲間たちですね。対して奇蹄目の仲間はウマ、バク、サイの仲間しか地球上にもう存在しません。

地球上のあらゆる所～山間部でも沼地でも草原でも～に適応して暮らし、数を増やして繁栄をはかった偶蹄類たちに対し、馬たちは肢先の軽い奇蹄の中でも単蹄を選び、速い逃げ足を獲得することで繁栄しようとしてきました。

草食動物は長い内臓を持つことから、それを支えるしっかりした固い背骨を持ちます。短く軽い内臓をもつ肉食動物が柔らかい背骨を持つのはその点で異なります。

人類にとって安全な草食動物であること、草食動物であるが故にヒトが乗るために適した固く安定した背骨を持つこと、偶蹄目や他の奇蹄目の仲間たちと違って、速く走るための条件を備えている、さらにはその身体のバランス（特に頭頸）が重心をうまく利用して効率よく走ることに適している・・・これらの要素が「乗りもの」として人類がウマを選んだ理由と言えるでしょう。

ちなみに5500年前～人類がウマに乗り出したと思われる頃～のものと思われるウマの化石の歯の部分には、明らかに「ハミ（鹿の骨）」のような物が使われていたことを示す摩滅があったそうです。その頃の人たちも、なんとかウマたちを思い通りに御してその走るスピードを利用し、行動範囲を広げようと試行錯誤を繰り返したのでしょうかね。

月川 大樹（つきがわ ひろき）プロフィール

獣医師。東京都在住。
全国乗馬倶楽部振興協会理事、日本馬術連盟馬場馬術本部委員、
国際馬術連盟公認獣医師、日本オリンピック委員会強化スタッフとして長年馬術界でご活躍され、今年度より RDA Japan の理事に就任されました。
趣味は乗馬、自転車、ドライブ。



● Facebook ページをはじめました

RDA Japan の Facebook ページ (FB ページ) を始めました。Facebook をされてない方でも見ていただけます。

全国各地のユニットが持つ HP (ホームページ) や Facebook ページの情報を掲載して、いち早く皆様の元へお届けしたいとおもいます。

RDAJ とそのユニットが身近に感じられるページを目指していきます。

みなさま、RDAJ の FB ページに是非「イイネ」のクリックをお願いします！

FB ページの URL : <http://www.facebook.com/rdajapan>

● 活動予定や活動報告、ご意見などを、ぜひお寄せください

RDA Japan News は、皆さまからの情報で成り立っています。

役立つ楽しい会報を目指していますので、乗馬会や講習会などのイベント情報、活動中のトピックスなどなんでもドシドシお寄せください。メールの宛先は rda@rdajapan.com までお願いします。

次号(12月発行)の締切は、11月15日です。

● ご寄附をいただきました。大変にありがとうございました。

山田 恭子様 (愛知県) 加藤 智泰様 (愛知県) 竹井 ひろ子様 (神奈川県)

● 編集後記



全米オープンテニスでは、日本人として初の準優勝の快挙を成し遂げた錦織選手の活躍が記憶に新しいが、車いすテニスで今季グランドスラムに王手をかけている国枝慎吾選手の存在を忘れてはならない。

国枝選手はテニスの車いす部門で世界的選手、これまで 2008 年北京、2012 年ロンドンパラリンピックと 2 大会連続制覇した金メダリスト。加えて世界元 1 位のフェデラーに日本の記者が「何故日本には世界的な選手が出てこないのか?」と質問した際、フェデラー氏は「何を言っているんだ君は? 日本には国枝慎吾がいるじゃないか! グランドスラムも自分より国枝が先だろう」と答えたというエピソードがある。今回の全米オープンで、錦織選手も国枝選手と積極的にコミュニケーションを行い多くの勇気をもらったとか。

そんな国枝選手の好きな言葉は、常にチャレンジを意識し、決断、行動する、だそうだ。今回の全米オープンは、錦織選手からは多くの感動を、そして国枝選手からは勇気と希望のエールをもらった印象的な大会だったのではないだろうか。



発行：特定非営利活動法人 RDA JAPAN (東京都知事 認定 NPO)

〒174-0043 東京都板橋区坂下 1-36-7-103

■電話・080-6519-7818 ■Eメール・rda@rdajapan.com

■ホームページ・<http://www.rdajapan.com/>

<郵便振替>口座番号:00100.4.32279 口座名義:RDA JAPAN

《このメールの返送先》 〒225-0001 神奈川県横浜市青葉区美しが丘西 2-21-1 RDA Japan 事務局